

## HTBasic 9 for Windows Rel.9.2

(Release note : Readme.txt)

この資料は、HTBasic for Windows Release Notes Release 9.2のreadme.txtをベースにHTBasic for Windowsの新しい仕様/特長と改善ポイントをご紹介します。

### 1. CD-ROMの収録内容の変更

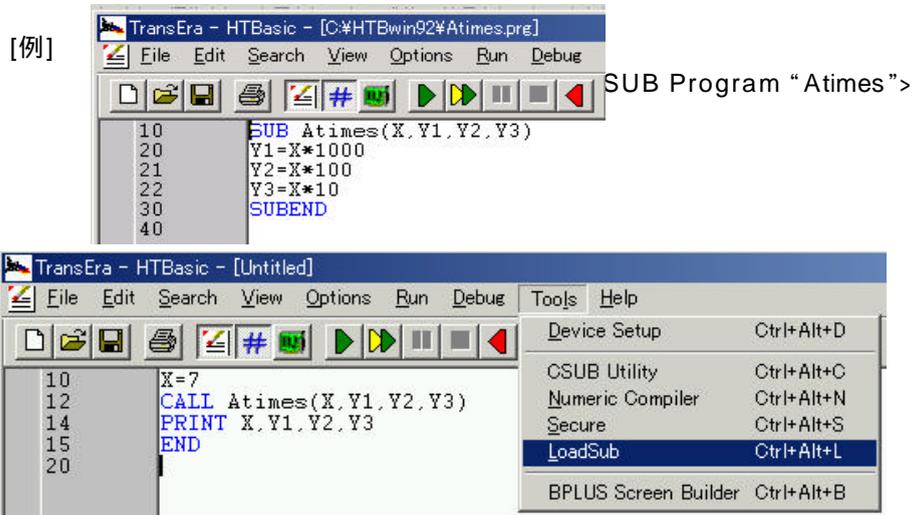
1)9.2の収録フォルダー名は、90 winのままです

名前	サイズ	種類	更新日時
60DOS		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:37
61win		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:37
74win		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:37
83win		ファイル フォルダ	2002/02/19 22:50
90Util		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:46
90win		ファイル フォルダ	2002/03/28 4:55
FLOPPY		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:36
LecyPlus		ファイル フォルダ	2001/02/01 5:37
SICL		ファイル フォルダ	2001/02/06 6:30
AUTORUN.INF	1 KB	ビットマップ情報	2002/03/27 1:00
CDSETUP.EXE	293 KB	アプリケーション	2002/03/27 1:00
COPY.BMP	32 KB	ビットマップ イメージ	2002/03/27 1:00
Demo.dbd	350 KB	DBD ファイル	2002/03/27 1:00
DISKID	1 KB	ID ファイル	2002/03/27 1:00
DISKETTE.EXE	504 KB	アプリケーション	2002/03/27 1:00
DS.DLL	11 KB	アプリケーション	2002/03/27 1:00
Hbintro.avi	10,515 KB	Video for Win...	2002/03/27 1:00
INSTALL.DAT	19 KB	DAT ファイル	2002/03/27 1:00
LICENSE.TXT	6 KB	テキスト文書	2002/03/27 1:00
README.TXT	1 KB	テキスト文書	2002/03/27 1:00
SETUP.ICO	3 KB	アイコン	2002/03/27 1:00

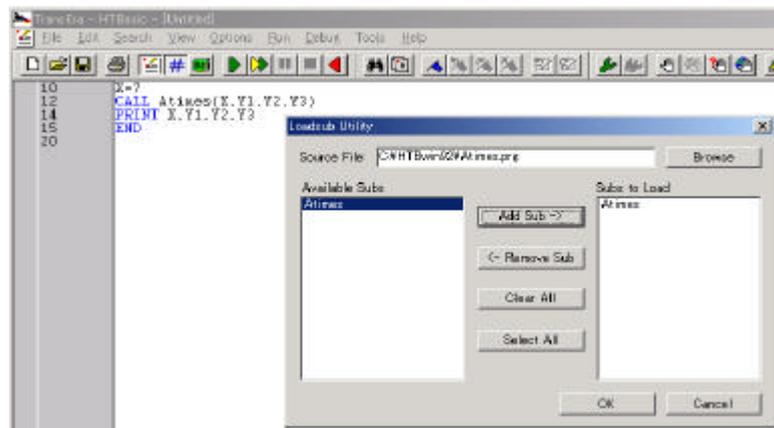
### 2 . 機能向上 :

1) LoadSubと呼ばれる機能がツールメニューに追加されました。

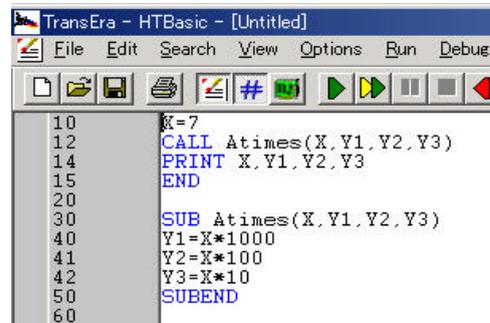
この機能は、リスト・ボックスにあるすべてのSUBのリストを使って、ユーザーはPROGファイルから **LOADSUB** と同じくサブプログラム付け加える機能です。



メインプログラムでは SUB Program "Atimes"を実行、プリントします。  
(1) ToolLoadsub でSUB Programを呼び出します。



(2) SUB Program "Atimes" のサブプログラム"Atimes"のソースをメインに加えます。



(3)メインプログラムを実行します。



2) カスタムのツールバーを作成するための新しいDLLが、DLL ツールキットのサンプルフォルダに追加されました。 サンプルプログラムは、

..¥HTBwin92¥DLL Toolkit¥Samples¥HTBToolbar¥ HTBToolbar.prg です。

[実行例]

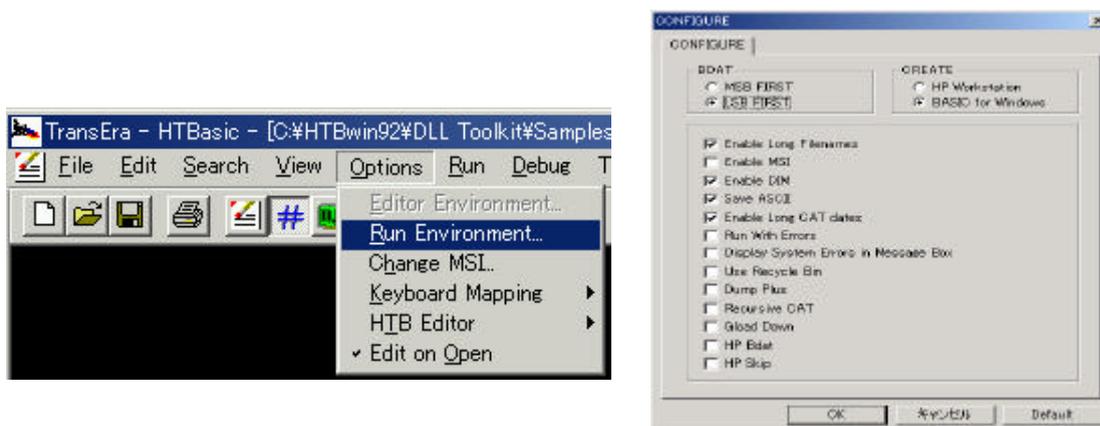


3) レジスタ 154 - 157 を使ったダンプ・グラフィックス・カスタム座標セットをクリアするために、コントロールレジスタ 158 が追加されました。

レジスタ 154 - 157 を設定すると、以後それらの値は HTBasic のそういう特定のケースに常に設定されます。このレジスタはその設定数値をクリアします。さらに、これはユーザーに自分のプログラミング中の部分ダンプを、他の部分の完全ダンプを可能にします。

4) LONG のフルサポートが数値コンパイラに追加されました。

5) Recursive Cat、Dump Plus および Gload Down ON/OFF が Options | Run Environment の CONFIGURE ダイアログに追加されました。



### 3 . 修正 :

- 1) ブランク・ラインに ! !は無くなり、アスキーファイルとして HTBasic プログラムを保存するときにソース・プログラムに追加されます。  
以前は HTBasic 以外のエディタのファイルを開く時、すべてのブランク・ラインに ! !がありました。
- 2) コマンドラインからの存在しないファイル名の CAT で、HTBasic はエラー-56 を出します。古い HP ワークステーションは、同じコードを実行する時に、やはりエラー-56 を出します。  
HP ワークステーションの動きでそうなるのを避けるために、設定システムコマンドが追加されました。  
このスイッチをセットするには、Options | Run Environment メニューの下の HP SKIP チェックボックスをクリックするか、または CONFIGURE SYSTEM ("HPSKIP ON") および CONFIGURE SYSTEM ("HPSKIP OFF") オプションを使います。
- 3) CONTROL ステートメントでシリアル・ドライバーのプロパティを変更すれば、デバイス・セットアップ・ダイアログにおけるシリアル・ドライバー入力のためのプロパティは正しくアップデートされます。
- 4) CONTROL KBD , 16 は複数のオプションを持つよう変更されました。  
  
CONTROL KBD , 16 ; 0   スクロールキー enable  
CONTROL KBD , 16 ; 1   スクロールキー disable  
CONTROL KBD , 16 ; 2   スクロールキー disable だが、スクロールキーで ON KBD 操作をトリガーできます。
- 5) DUMP GRAPHICSを行う時、PPA タイプのプリンタが使えるよう Control statement が追加されました。  
CONTROL 10,160;1 は PPA プリンタの使用を enable にします。  
CONTROL 10,160;0 は PPA プリンタの使用を disable にします。  
PPA プリンタは、HP DeskJet 710C、712C、720C、722C、820Cxi、820Cse、1000Cxi、1000Cse が使えます。
- 6.) Area Intensity と Area Color を使う時に、ディザリングが適切に動作するようになりました。
- 7) FOCUS は、PANEL には子ウィジェットであるストリングウィジェットに正しく設定できるようになりました。
- 8) HTBasic は、不完全な SAVE コマンドを実行しようとしたときハングしてしまっていたが、エラー-951 を表示するようになりました。  
例 : SAVE "Filename"

- 9) オプションのパラメータを使った GLOAD/GSTORE コマンド機能は変更されています。リリース 9.1 以前は、ポジショニング・パラメータを使った GSTORE と、それらと同じパラメータを使った GLOAD はできませんでした。この問題を訂正するために、GLOAD コマンドはイメージにロードする時、パラメータを要求するようにしました。その結果、パラメータが有っても無くても GLOAD が可能になりましたが、新旧の GLOAD 間で変更するには、以下のシンタックスを使う必要があります：  
CONFIGURE SYSTEM ("GLOAD UP")  
または  
CONFIGURE SYSTEM ("GLOAD DOWN")  
さらに、これらの設定は Options | Run Environment ダイアログに設定できます。
- 10) GPIBNI ドライバーは、TALK オプションで SEND コマンドを実行する時に、もう “ Missing option ”又は、”configuration error”を出すことはありません。
- 11) ENTER を実行中の HPIBS ドライバーは、ON TIMEOUT ステートメントを正しく出すようになりました。以前は、ON TIMEOUT ステートメントは無視されました。
- 12) 2 ページ以上にわたるコードのセクションをハイライトおよびプリントする時、コードの行が失われることは無くなりました。
- 13) LONG 変数は数値コンパイラにおいて完全にサポートされるようになりました。以前は、二つの LONG 変数が加えられ、かつ数値が REAL に割り当てられる場合とか、LONG が REAL で除算されるような場合、コンパイル・タイム・エラーを起こしました。
- 14) SUB プログラムの最初のライン上へテキストを貼り付けることはできなくなりました。これにより、ユーザーは SUB 定義を途中で不用意に変更してエラーを起こすことがなくなります。
- 15) SYSTEM\$コマンドを含んでいるプログラムをプリントすることにより、このコードの行のシンタックスチェックはされません。
- 16) プリント幅を超えるプログラムの行は、複数行にプリントできるようになりました。以前は、ページをはみ出すプログラムの行を印刷する時、次の行に行かずに切れてしまいました。
- 17) 「行番号なしのテキスト」として保存すると、ファイルを再度開いた時、すぐに HTBasic ヘッダーに新しいファイル名で示されるようになりました。
- 18) 「行番号なしのテキスト」として保存し、ファイルを再度開いた時にシフト・ポジションへの行の終わりに現れるすべての ! がなくなりました。
- 19) WAIT ステートメントを使うシリアル・ドライバーは、ON TIMEOUT ステートメントの後に使われる時、適切に動作するようになりました。

- 20) Alt+Lキーボード・ショートカットはツール・メニューにアクセスされます。  
Tools から Tools に変更になりました。
- 21) Alt+Tキーボード・ショートカットは、「sub」と「full」の間のプログラム・リストの切り換えだけ行います。以前は、ツールメニューは同様にAlt+Tを使っていました。  
エディタは、Ctrl+F9でブックマークをセットし、Ctrl+F10を使ってブックマークにアクセスした後、正しくスクロールできるようになりました。
- 22) TIMEDATE 機能は、もしHTBasicを実行中にシステム時間が代えられても、システム時間を使用して動的にアップデートされます。
- 23) BIG NUMBERING は、XYウィジットのためにサポートされた属性ではありません。  
それらシンタックスは機能を移植するためにサポートされます。

以上